

スライムをつくらう！

○材料

水

せんたくのり

ホウ砂(「ほうしゃ」とよみます)

○用意するもの

紙コップ・・・3つ

プラスチックの容器・・・1つ

わりばし(1本には印をつけよう)

ものさし

ボールペンや油性ペン

好きな色の絵の具

新聞紙(机にしきましょう)

材料を混ぜ合わせて
スライムを完成させるため
に使用します。
プリン容器などでOK



「ホウ砂」(ほうしゃ)ってなあに？

- ◆ ホウ砂は医薬品、つまりお薬のなかまです。
- ◆ しかし、お薬であるとうじにホウ砂は毒の性質ももっています。
- ◆ 万が一、口に入ったら大変なことになるります。手についたら必ず、すぐに手を洗いに行きましよう。

！ 注意 ！

なんでスライムはできるの？

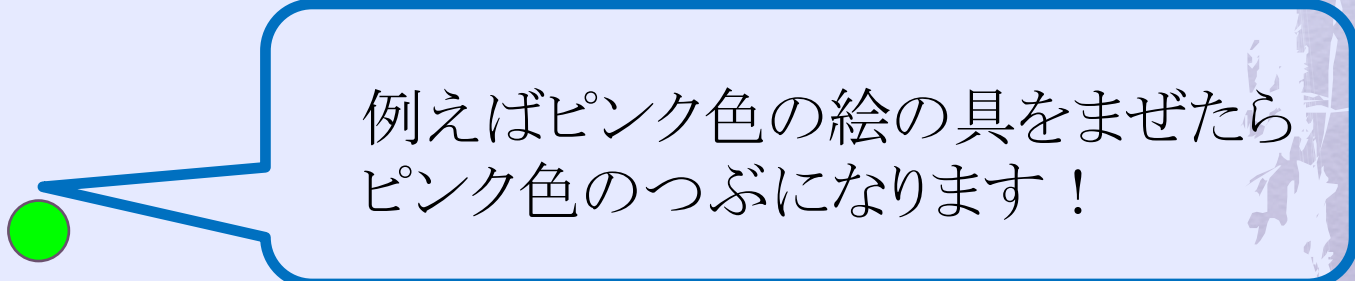
- ◆ せんたくのりはひも状のものがあつまってできています。このひも状のものは泳ぐことが得意で水の中を泳ぐことができます。

スイスイおよくよ！



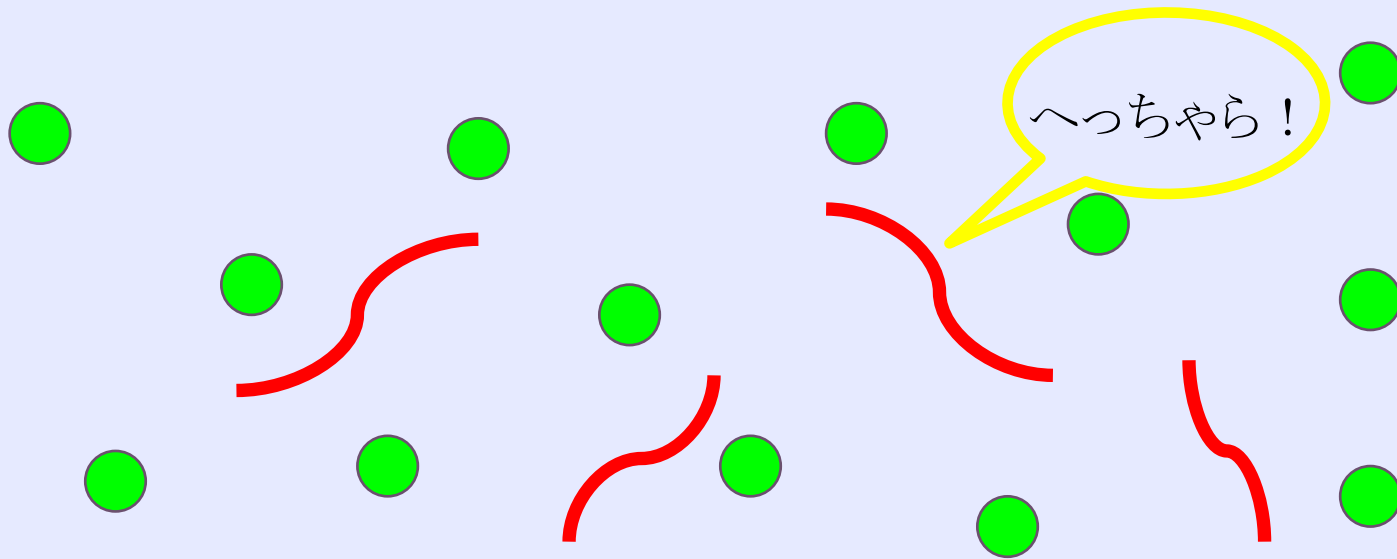
- ◆ 水と絵の具をまぜたものは目に見えない小さなつぶのあつまりです。

例えばピンク色の絵の具をまぜたら
ピンク色のつぶになります！



なんでスライムはできるの？

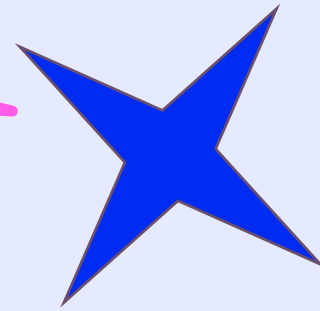
- ◆ では、せんたくのりと色つきの水をまぜてみましょう。
- ◆ この状態ではまだひも状のものは水の中を自由に泳ぎまわることができます。



なんでスライムはできるの？

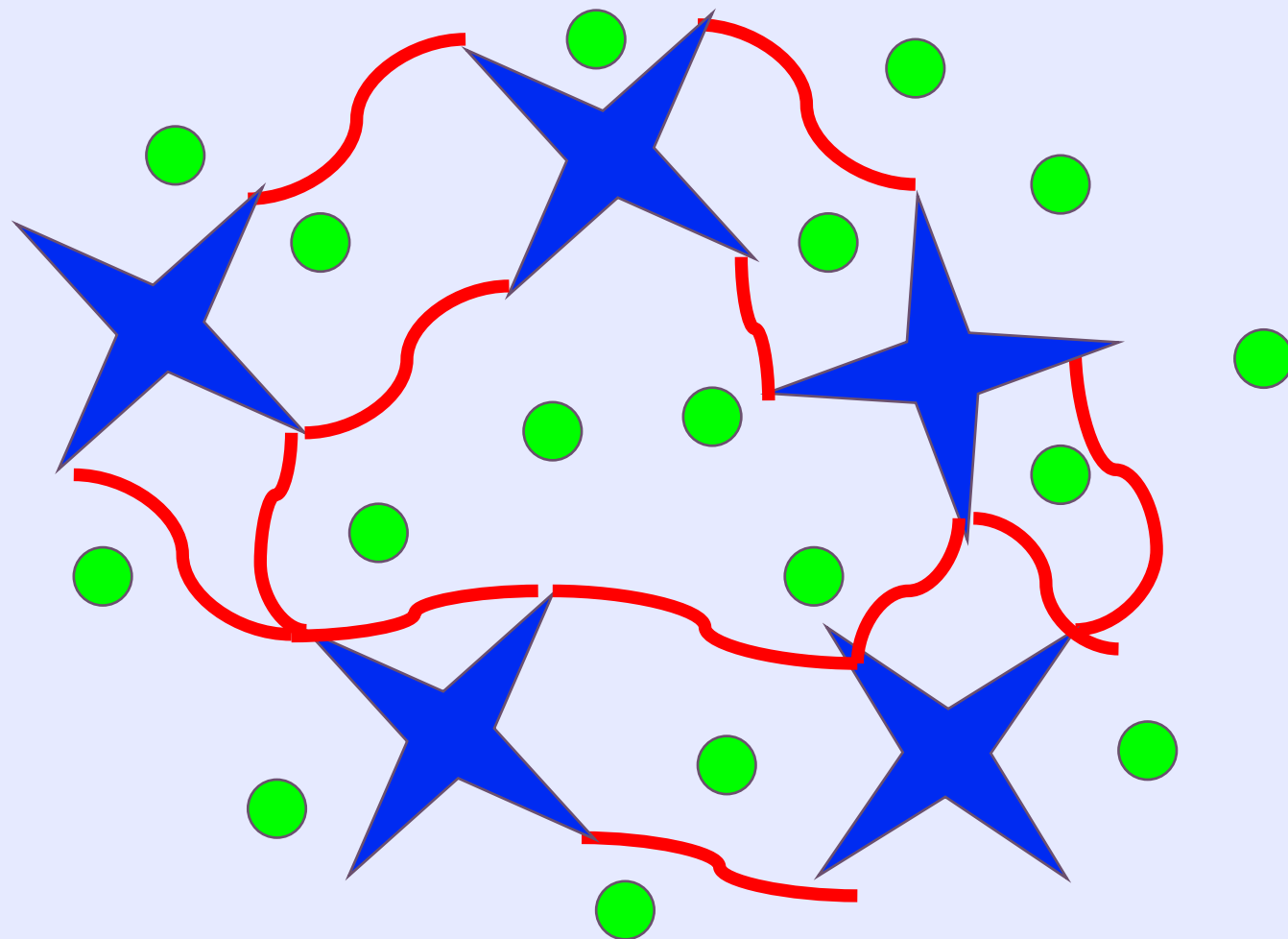
- ◆ ホウ砂は4つの手をもっています。

たくさん手があるんだよ！



ホウ砂を先ほどの、色つき水とせんたくのりを
まぜたものの中に入れて・・・

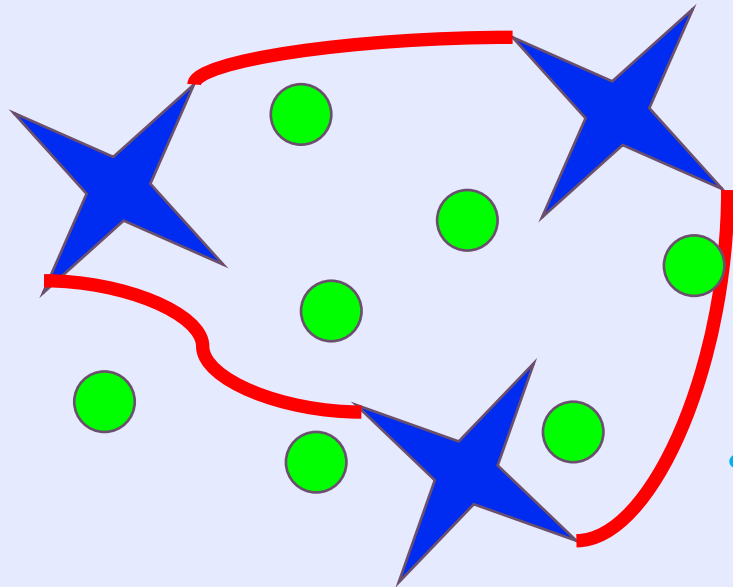
なんでスライムはできるの？



どうなってる・・・？

なんでスライムはできるの？

せんたくのりをホウ砂がしっかりつかんで、あみめのようになっていますね。そのあいだに水のつぶがはいりこむことによって、スライム特有のプルプル感がうまれるのです。



ひっぱられても、
のびるよ～！

さっそくスライムをつくらう！

- ◆ 用意した3つの紙コップにそれぞれ①、②、③の番号をかきます。
- ◆ 紙コップの底からものさしをあてて、次の長さのところに線をひきます。
①・・・2cm、②・・・2cm、③・・・1.6cm



さっそくスライムをつくらう！

- ◆ ①と③には水を、②にはせんたくのりを線のところまでいれます。

※まちがえないでね！



内側からのぞくと
わかりやすいよ！

さっそくスライムをつくらう！

- ◆ ①の紙コップに好きな色の絵の具をいれて印のあるわりばしでまぜましょう。入れる絵の具の量は少ない量(米つぶ大くらい)で大丈夫です。

どんなスライムになるかな・・・？



さっそくスライムをつくらう！

- ◆ ③にはホウ砂をいれます。…**少**しいれて印の**ない**わりばしでよくまぜてみましょう。



少しずつだよ！



よーくかきまぜて！

さっそくスライムをつくらう！

底にとけずに残っている粒がありますか？

ある→OK

ない→もう少しいれましょう。



よくみてね！

粒が残るまでホウ砂をいれていきます。

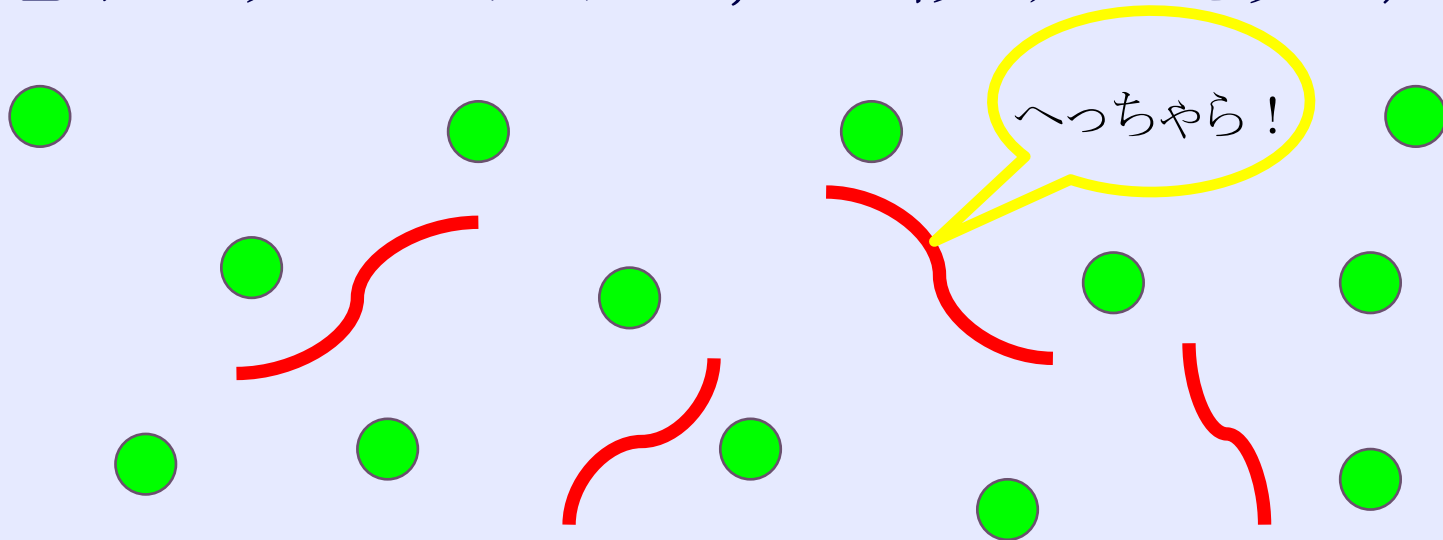
- ◆ このように、粒が残るまで入れた水を飽和水溶液(ほうわすいようえき)といいます。
- ◆ わかりやすくいえば、おなかがいっぱい食べ残してしまう状態です。

さっそくスライムをつくらう！

- ◆ さて、いよいよ混ぜ合わせてみましょう！まず、プラコップに①と②をいれて印のあるわりばしで混ぜます。

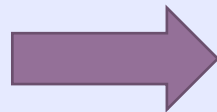
次のような状態になりますね。

(忘れた人はスライド4, 5を読み返そう！)



さっそくスライムをつくらう！

- ◆ ここでいよいよ③をいれるわけですが……
必ず**少しだけ**いれて印のあるわりばしで混ぜてください。
すると……？



さっそくスライムをつくらう！

- ◆ ③をいれればいれるほど、スライムはどんどんかたまっていきます。
- ◆ 自分の好きなかたさのところまで③を入れるのをやめましょう！
- ◆ かたくなったものをやわらかい状態に戻そうと思っても無理ですので、注意しよう☆
- ◆ だから③は少しずついれようね！

少しかためだよ

。。。



さっそくスライムをつくらう！

- ◆ もし③がなくなったら、また水とホウ砂をいれて水溶液をつくらう。
- ◆ このときは印の**ない**わりばしでまぜてね。
- ◆ 「もうこのかたさでいいや」と思ったら、わりばしを2本ともつかっていいよ！

自分好みのスライムができたかな・・・？